

令和3年度 石神井東中学校 経営計画

校長 市川 昌彦

I 教育目標

人権尊重の精神を基に、心身共に健康で、知性と感性に富み、社会性や人間性豊かな生徒の育成を目指し、次の目標を設定する。

- 1、思いやりの心をもてる人
- 2、自ら学び、考え行動できる人
- 3、心も体もたくましい人

II 基本方針

学校は、生徒にとって居心地のよい安全で快適な生活の場であり、一人一人に活躍の場があり、学校生活を通して、学ぶ喜びを味わいながら日々の成長を実感できる場所でなくてはならない。また、教員にとっては教職に対する生きがいを実感できる場所、保護者にとっては毎日安心して我が子を送り出せる場所なくてはならない。

そのため、校長・副校長のリーダーシップの下、主幹及び主任教諭を中心とした全教職員が創造性と主体性を発揮しながら、次のような学校づくりに努める。

- 1 人権教育・道徳教育を充実させ、思いやりの心や社会性の育成に努めるとともに、人間性豊かな生徒を育成する。
- 2 個に応じた指導や学び合いの学習を重視した授業改善に努め、基礎的・基本的な学習内容の定着と思考力・判断力・表現力等の育成を図り、生徒の学力を向上させる。
- 3 基本的な生活習慣の定着を図るとともに、規範意識を身に付け、自ら適切な判断をして行動できる生徒を育成する。
- 4 感動できる学校行事の創造、生徒会活動や部活動の充実を図り、生徒に達成感や自己肯定感・自己有用感を味わわせる。
- 5 危機管理体制の充実を図り、生徒の安全・安心を確保する。また、健康の保持増進、体力の向上を図り、安全で健康な活力ある生活を実践できる生徒を育成する。
- 6 オリンピック・パラリンピック教育を通して、生徒に「ボランティアマインド」「障害者理解」「スポーツ志向」「日本人としての自覚と誇り」「豊かな国際感覚」を身に付けさせる。
- 7 全教職員の共通理解の基、教育相談活動の充実を図り、特別支援教育を推進する。
- 8 小中一貫教育の研究成果を活かし、義務教育9年間の系統的な学習指導・生活指導の充実に努める。

III 目指す学校像・生徒像・教師像

石東中の「あいうえお」(あいさつがあふれ いじめがなく うつくしく えがおと おもいやり)に満ちた学校のために

【目指す学校像】

- 1 人権感覚を磨き、いじめを絶対に許さない学校
- 2 基礎学力の定着とその発展に取り組む学校
- 3 自己実現を目指すキャリア教育に取り組む学校

4 温かさと厳しさのある指導に取り組む学校

【目指す生徒像】

- 1 思いやりの心をもてる生徒
- 2 自ら学び、考え行動する生徒
- 3 心も体もたくましい生徒

【期待する教師像】

- 1 温かさと厳しさをもつ人間性豊かな教師
- 2 学校経営に参画し、教育目標の具現化に努める教師
- 3 専門職として絶えず研究と修養に励む教師
- 4 誠実・公正で、生徒・保護者から信頼される教師

IV 中・長期的な取組目標

- 1 思いやりの心と社会性や人間性豊かな生徒の育成を図る**人権教育・道徳教育の充実**
- 2 生徒が主体的・意欲的に学び、確かな学力の定着につながる**学習活動の充実**
- 3 基本的な生活習慣の定着と規範意識を身に付ける**生活指導の充実**
- 4 生徒に達成感や自己肯定感・自己有用感を味わわせる**体験活動の充実**
- 5 防災教育・安全指導の計画的な実施と**健康教育や食育の充実**
- 6 **オリンピック・パラリンピック教育の充実**
- 7 個に応じた**特別支援教育の充実**
- 8 小中一貫教育の研究成果を生かした**学習指導・生活指導の充実**

V 本年度の達成目標

- 1 道徳教育を要とした全教育活動を通じて、思いやりの心や社会性の育成に努めるとともに、自他の生命を尊重し、偏見や差別、いじめのない好ましい人間関係を築かせる。
(道徳授業の充実度80%以上)(人権教育の充実度80%以上)(いじめ撲滅の取組充実度100%)
- 2 個別指導や学び合いの学習を重視した授業改善に取り組み、基礎的・基本的な学習内容の定着と思考力・判断力・表現力等の育成を図り、学力を向上させる。
(分かり易い授業の肯定的評価80%以上)(学び合い活動の充実度80%以上)(授業への取組・学習意欲の高まり度80%以上)(年間3冊以上の読書達成度100%)
- 3 挨拶の励行、時間やきまりを守ることを徹底し、生活習慣の定着と規範意識を身に付けさせるとともに、授業規律と学校生活の安定を維持する。
(「あいうえお」の実践率80%以上)(学校生活のきまりを遵守した生徒90%以上)
- 4 各行事における内容の精選と工夫を図りながら指導を充実させるとともに、主体的な体験活動により自己実現を促すキャリア教育を推進する。
(各行事や部活動の充実・感動度90%以上)(主体的な生徒会活動への参加80%以上)
- 5 防災教育・安全指導の工夫と計画的な実施に努め、生徒の安全・安心を確保する。また、健康教育や食育を充実し、心身共に健康な生徒を育成する。
(防災教育や健康教育、食育の充実度・肯定的評価80%以上)
- 6 オリンピック・パラリンピック教育を推進し、その意義や歴史、我が国や他国の伝統・文化等の理解を深めることで日本人としての自覚と誇りをもたせ、共生社会の実現や世界の平和と発展に貢献しようとする生徒の育成を図る。
(オリ・パラ教育における充実度・肯定的評価80%以上)(地域や学校でのボランティア貢献度80以上)
- 7 校内支援委員会において特別支援教育コーディネーターを中心に、特別支援教室、SC、心の

ふれあい相談員、SSWr と連携を図り、全教職員の共通理解の基、生徒に応じた特別支援教育の充実を推進する。

(特別支援教育、教育相談活動の充実度・肯定的評価80%以上)

8 小中一貫教育の研究成果を活かした関係小学校との交流活動により、学習指導・生活指導を充実させる。

(小中一貫教育の実践・充実度の肯定的評価80%以上)

VI 具体的な方策と達成プラン

1 道徳授業を要とする全教育活動を通じて、思いやりの心や社会性の育成に努めるとともに、自他の生命を尊重し、偏見や差別、いじめのない好ましい人間関係を築かせる。

(1) **道徳授業の充実を図る。**

全校体制での計画的な道徳授業の実施、道徳授業地区公開講座の充実を努め、思いやりの心や社会性の育成を図る。

(2) **人権教育の充実を図る。**

人権教育プログラムの活用、「いのちの講演会」の実施、人権作文への取組等、人権教育を確実に進め、自他の生命の尊重や偏見と差別のない好ましい人間関係を構築する。

(3) **いじめ・不登校問題への迅速な対応を図る。**

「学校いじめ防止基本方針」に基づき、組織的にいじめ防止に取り組むとともに、生活アンケート等を活用した教育相談を充実させ、いじめの早期発見、早期対応に努める。登校しぶりや不登校生徒への個に応じた粘り強い丁寧な対応に努め、課題解決を図る。

2 個別指導や学び合いの学習を重視した授業改善に取り組み、基礎的・基本的な学習内容の定着と思考力・判断力・表現力等の育成を図り、学力を向上させる。

(1) **学習規律の確保に努める。**

チャイム着席、始業時のあいさつ、発表時における姿勢等、統一した規律を全教職員で確認し、生徒が真剣に学習に取り組む姿勢・態度の定着に努める。

(2) **分かり易い授業づくりに取り組む。**

指導力向上に向けた授業研究や校内研修の充実、生徒による授業評価の実施、授業改善推進プランの作成と実践を通して、より分かり易い授業を行い、生徒に学ぶ喜びを味わわせ、生徒の学習意欲を高める。

(3) **個に応じた指導や学び合いによる学習を重視した、学習活動の工夫を図る。**

タブレットPC等、ICT機器を活用した分かり易い授業を展開する。生徒に学ぶ喜びを味わわせ、生徒の学習意欲を高める指導力向上に向けた授業研究や校内研修の充実、生徒による授業評価の実施、授業改善推進プランの作成と実践に取り組む。

人数習熟度別指導を計画的に進め、個々の能力を伸長させる。

(4) **読書活動の活性化を図る。**

朝読書の取組を継続する。また、生徒がより読書に親しむことができるよう、学校図書館支援員を活用し、学校図書館の運営・充実を図る。

(5) **各教科で適切な評価計画を立て、より信頼度の高い評価・評定を行う。**

評価の方針、方法について校内での共通理解を図り、信頼度の高い評価・評定を実施する。年度当初に生徒への説明、保護者対象の教育計画説明会を行う。

3 挨拶の励行、時間やきまりを守ることを徹底し、生活習慣の定着と規範意識を身に付けさせるとともに、授業規律と学校生活の安定を維持する。

(1) **規範意識の育成を日常の学校生活を通じて行う。**

- 学校のきまり・社会のルールを守る意識を全教員による指導体制で育てる。
- (2) **問題行動に対して適時性のある厳正な指導を行う。**
問題行動の発生にあたっては、生活指導部を中心にして毅然とした姿勢で指導にあたる。同時に、指導の意図するところを生徒や保護者に明確に伝え、学校と家庭の信頼関係を大切にして、共同して生徒指導にあたる。
 - (3) **生徒の心を大切にしながら温かみのある生活指導を推進する。**
学年の枠を越えて情報を共有し、全校体制で教員複数によるきめ細かい生活指導を行う。年3回のふれあい月間における教育相談や生徒の社会性を高めるための取組を充実させ、自ら考え、判断し、行動できる生徒を育成する。
- 4 各行事における内容の精選と工夫を図りながら指導を充実させるとともに、主体的な体験活動により自己実現を促すキャリア教育を推進する。
- (1) **感動できる学校行事の創造と部活動の更なる充実を図る。**
各行事の内容の精選と生徒が主体的に取り組める指導の工夫を図る。部活動においては、教育活動の一環としての教育的効果に鑑み、原則、全教員が顧問を担当する。生徒の活動欲求の充足に向けては外部指導員等を活用するなど、部活動指導の充実を図る。
 - (2) **主体的な自己実現を促すキャリア教育を充実させる。**
職業調べや職場体験等、キャリア教育としての進路指導の充実を図り、望ましい勤労観・職業観を育成し、自己の生き方を考えさせる。地域ボランティア等への参加を促し、社会に貢献しようとする意欲を育成する。
- 5 防災教育・安全指導の工夫と計画的な実施に努め、生徒の安全・安心を確保する。また、健康教育や食育を充実させ、心身共に健康な生徒を育成する。
- (1) **危機管理体制の充実を図る。**
防災・防犯マニュアルのさらなる見直し、震災発生時の様々な場面を想定しての避難訓練や不審者対応も含めた安全指導の計画的な実施、情報モラル講習会やセーフティ教室、校舎内外の安全点検と修繕を通して、生徒の安全を確保し、防災や安全についての意識を高める。
 - (2) **心身の調和のとれた発達を図るための健康教育や食育を推進する。**
健康教育や食育を生徒会活動とも連携しながら進めていく。食育の年間指導計画の作成、給食試食会や学校保健委員会を通して保護者への啓発を行い、家庭の協力を得ながら心身共に健康な生徒の育成に努める。
- 6 オリンピック・パラリンピック教育を推進し、その意義や歴史、我が国や他国の伝統・文化等の理解を深めることで日本人としての自覚と誇りをもたせ、共生社会の実現や世界の平和と発展に貢献しようとする生徒の育成を図る。
- (1) **ボランティアマインドの育成**
ボランティアに関わる取組を継続的・計画的に行い、社会貢献や他者を思いやる心、「おもてなし」の精神等を育むとともに、生徒の自尊心を高める。
 - (2) **障害者理解教育への取組**
障害者理解の学習・体験や障害者との交流を通じ、多様性を尊重し、障害者を理解する心のバリアフリーを生徒に浸透させる。
 - (3) **スポーツ志向の育成**
多様なスポーツへの興味・関心を高め、体験することを通じ、フェアプレーやチームワークの精神を育み、心身ともに健全な生徒を育成する。
 - (4) **日本人としての自覚と誇りの醸成**
日本の伝統や文化を学び世界に発信する力を育てるとともに、日本人の規範意識や公共の

精神等を学ぶことを通じ、生徒に日本人としての自覚と誇りを身に付けさせる。

(5) **豊かな国際感覚の育成**

世界の多様な国々の歴史や文化を学ぶとともに、留学生や外国人等との交流を促進し、豊かな国際感覚を養う。

7 校内支援委員会において特別支援教育コーディネーターを中心に、特別支援教室、SC、心のふれあい相談員、SSWr と連携を図り、全教職員の共通理解の基、生徒に応じた特別支援教育の充実を図る。

(1) **校内の支援体制を充実させ、特別支援教育の推進に努める。**

特別支援教室の巡回指導教員からの助言・指導を得ながら、スクールカウンセラー・心のふれあい相談員、SSWr 等と連携し、当該生徒に向けた支援体制の充実を図る。また、状況に応じて外部関係諸機関とも連携した特別支援教育を積極的に推進する。

(2) **発達障害等への理解を深め、特別支援教育の充実に努める。**

校内研修会等を通して、全教職員が発達障害について正しく理解し、障害の特性や生徒の個に応じた支援のスキルを身に付ける。

8 小中一貫教育の研究成果を活かした関係小学校との交流活動により、学習指導・生活指導を充実させる。

(1) **9年間の学習の系統化に取り組む。**

小・中学校の教員同士が計画的、共同的な授業研究や交流活動の充実に努め、国語、算数・数学、英語(外国語)における課題改善カリキュラムの作成とその検証に取り組む。

(2) **交流活動の充実を図る。**

中学生によるリトルティーチャー授業、吹奏楽や演劇等の文化交流を実施し、小学生と中学生が相互に関わり合う活動の充実を図る。

(3) **「15歳の生徒像」を小中学校で共有する。**

9年間の義務教育の修了を見据え、目指す生徒像を小・中学校で共有し、学習指導の充実と不登校問題の解消等、児童・生徒の健全育成に取り組む。

VII 特色ある活動

- 1 毎朝の登校時の挨拶運動。
- 2 石神井東小学校や富士見台小学校の連携校との小中一貫教育の確実な実践とともに学区域の小学校との連携。
- 3 健全な成長への願いを込めた「フラワーロード」の管理・維持。(学校、生徒会、PTAで)
- 4 石東タイムによる朝読書活動。(8:25~35の10分間で心を落ち着かせ読書をする)
- 5 積極的に道徳の時間を公開。(道徳授業地区公開講座、学校公開日を活用し広く意見をいただく)
- 6 地域行事等への積極的な参加とボランティア活動。
- 7 「部活動を支える会」の充実。(部員の保護者による各部活動の支援)
- 8 石東中ならではの学校行事の創造。(新たな形と伝統との融合)
- 9 いのちの講演会、オリンピック・パラリンピック講演会等外部講師による各種講演会の実施。

VIII 本校の伝統的スローガン

学 校 「心をひとつに」(みんなで良い学校をつくろうという趣旨)

部 活 動 「良きプレーヤーである前に良き中学生であれ」(部活動参加にあたっての心構え)

合い言葉 「石東中は未来の私の出発点」(夢や目標をもって自ら定めた進路へと巣立っていくために)